CO_2増加による気温上昇の予測と実績

予測	世　界	向こう数十年の間に、CO_2及びその他の温室効果ガスの排出が大幅に減少しない限り、21世紀中に地球温暖化は1.5℃及び2℃を超える※1
	日　本	2100年頃に0.5～5.4℃上昇※2 ○RCP2.6シナリオ（低位安定化シナリオ:気温上昇を2℃以下に抑えることを想定）:0.5～1.7℃上昇 ○RCP8.5シナリオ（高位参照シナリオ:政策的な緩和策を行わないことを想定）:3.4～5.4℃上昇 （RCPシナリオは政策的な緩和策を前提として、将来、温室効果ガスをどのような濃度に安定化させるかという考え方から算出するシナリオ）
実績	世　界	100年あたり約0.77℃の割合で上昇※3
	日　本	100年あたり約1.40℃の割合で上昇※4

出典：（※1）環境省「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）　第6次評価報告書（2021）」、（※2）環境省・文部科学省・農林水産省・国土交通省・気象庁「気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート2018～日本の気候変動とその影響～」、（※3・※4）気象庁ホームページ等より作成